

2017年度 第1回 5月 難関大本番レベル記述模試

日本史B・採点基準 記述・記号部分

◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

1 ヤマト政権・律令国家における政治運営（2点×4＝8点）

- *注意事項・許容解など
特になし。

2 倭寇と中世の日朝関係（2点×10＝20点）

- *注意事項・許容解など
特になし。

3 近世の史料（2点×10＝20点）

- *注意事項・許容解など
特になし。

4 開成所と東京大学（2点×10＝20点）

- *注意事項・許容解など
特になし。

5 昭和戦前期の日本経済・社会（2点×10＝20点）

- *注意事項・許容解など
特になし。

論述部分

◆論述問題・添削記号◆

難関大本番レベル記述模試・日本史Bの採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
<u>~~~~~</u> | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ [×] □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. <u>□□□□</u> ^x | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
2. 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内、二重線□□→**1点**、下線□□→**0点**）
3. **歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
4. 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
5. 設問によっては加点要素の合計が配点を超過している場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

1 ヤマト政権・律令国家における政治運営（論述部分）

問3 律令制下の「根幹となる3つの税」

◆加点要素の合計6点→5点満点◆

◎律令制下の根幹となる税

- a 国衙〔地方／国府／（令制）国〕に納める稲〔米〕である租 …… 2点以内
※租を示していない場合は非加点
- b 政府〔中央／京／朝廷〕に納める（麻）布である庸 …… 2点以内
※庸を示していない場合は非加点
- c 政府〔中央／京／朝廷〕に納める特産品〔郷土の産物〕である調 …… 2点以内
※調を示していない場合は非加点
※単なる「租・調・庸」のみ示しただけの場合は非加点

問6 二人の天皇の仏教政策

◆加点要素の合計7点→7点満点◆

◎天皇の仏教政策（「南都の寺院」関連）

- a 桓武天皇は南都の寺院を平安京に移転させなかった／南都の寺院勢力への対策として平安京に遷都した …… 2点以内

◎天皇の仏教政策（「大乘戒壇」関連）

- b 嵯峨天皇は延暦寺〔天台宗／最澄〕に大乘戒壇（の設置）を認めた …… 2点以内

◎天皇の仏教政策（「空海」関連）

- c 嵯峨天皇は空海に東寺〔教王護国寺〕を与えた …… 2点以内

◎天皇の仏教政策

- d 桓武天皇〔嵯峨天皇〕は新しい仏教〔平安仏教／天台宗と真言宗／最澄と空海〕を支援〔保護〕した …… 1点以内